

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第220号 2022年9月号

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023

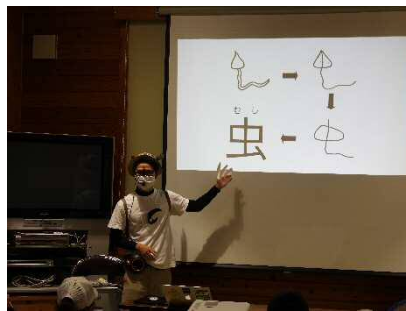


「こんちゅうクンの昆虫教室」を開催しました

8月3日(水)に「こんちゅうクン」こと竜洋昆虫自然観察公園の北野伸雄さんを講師に招き、昆虫教室を開催し、14人が参加しました。参加者は、クワガタやアメンボ、バッタなど5種類の生物を見ながら講師から昆虫の特長の説明を受けました。その後、桶ヶ谷沼へ出かけ、クヌギなどの木に集まるカナブンやクワガタ、セミ、チョウなどの昆虫を捕まえ、詳しく観察をしました。また、エノキの木の周りを飛ぶ美しいタマムシの姿も見ることができました。昆虫採集や講師のわかりやすい説明で、楽しく昆虫について学ぶことができました。



1 こんちゅうクンの自己紹介



2 虫という字はヘビの姿が変化してできた



3 生物の分類について説明



4 クワガタの足の数は6本だね



5 ケースに入れてルーペで観察



6 この写真の中にはどんな昆虫がいるかな



7 ショウリョウバッタの後ろ足をつかむと…



8 こんちゅうクン、みて！
チョウを捕まえたよ



9 カナブンがここにいるよ

「こんちゅうクンの昆虫教室」で学んだこと

- ① 虫という漢字はヘビの姿が変化してできた。(写真2)
- ② 虫とは、人、けもの、鳥、魚以外の小さな動物のことをいう。
- ③ 昆虫は体が、頭・胸・腹の3つの部分に分かれ、胸に翅と足がついている。
- ④ 昆虫の翅は2対で4枚、足は3対で6本。(写真4)
- ⑤ クワガタ、アメンボ、ダンゴムシ、バッタ、ヤゴの中で昆虫ではないのはダンゴムシ。理由は足が14本あるから。他の4種類は全て足が6本。(写真3)
- ⑥ 昆虫によってそれぞれ足のつくりが違ふ。また、1匹の昆虫でも1対ずつ足のつくりが違っている。
- ⑦ ヤゴが餌をとるときには口がマジックハンドのように伸びて餌を捕まえる。
- ⑧ ショウリョウバッタの後ろ足2本をもつとリズムよく体を上下に動かす。この姿が米をつけているように見えることからコメツキバッタという別名がついた。(写真7)
- ⑨ 地球上にはおよそ1,000,000種類の昆虫がいて、動物の種類の半分以上を占めている。

「アメリカザリガニ勉強会」を開催しました

7月31(日)に桶ヶ谷沼でアメリカザリガニの調査をしている保崎有香さんを講師に招き、「アメリカザリガニ勉強会」を開催し、午前中は「おけがや自然塾」塾生17人、午後は一般の方19人の参加がありました。参加者は、講師からアメリカザリガニの種類や特長などについて説明を受けた後、桶ヶ谷沼へ出かけ、前日に設置した罠を引き上げました。罠には、アメリカザリガニ、カメや魚などが入っており、センターに持ち帰り、オスカメスカを調べたり体長を測定したりしました。

参加者は、勉強会から次のことを学びました。

- ① 日本にはニホンザリガニ、ウチダザリガニ、アメリカザリガニの3種類のザリガニがいる。
- ② アメリカザリガニはヤゴを食べてしまい、ヤゴの隠れる水草を切ってしまうので、ヤゴの天敵である。
- ③ アメリカザリガニは落ち葉も食べるため、落ち葉の多いところにたくさんいる。
- ④ 夏の暑い時は日の当たりにくいところに多くいる。逆に冬は日の当たる暖かいところに多くいる。



ノギスで体長を測定

センター行事のお知らせ：「赤とんぼ調査会」	
日時	10月23日(日) 13:30~15:30
場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
対象・募集人数	一般(小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可)・20人 先着順
内容	アカトンボの種類や生態、区別の仕方などの説明を受けた後、桶ヶ谷沼でアキアカネなどのアカトンボの観察を行います。
服装・持ち物	マスク着用、作業ができる服装(長そで・長ズボン)、帽子、水筒、タオル、軍手、長靴、カメラ、虫取り網・虫かご・虫眼鏡(ある方)、カッパ(少雨の場合)
備考	新型コロナウイルスの感染状況・天候によっては中止になることがあります。
*申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ	